



情報の IT 化

公益財団法人 国際通貨研究所

評議員 眞野輝彦

(前 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

客員研究理事)

今さら取り上げることもないのだが、情報伝達の IT 化が急速に進んでいるにも関わらず、家計生活は必ずしもその変化に追いついていないようである。この機会に情報の IT 化のメリットとデメリットを考えてみたい。

家計の情報源といえば新聞が代表的なものだが、新聞を取らない若い独身世代が増えている。その理由は言うまでもなく、インターネットを経由し、時に無料で、世界各地の情報が入手できるからである。

新聞に代表される印刷物情報の欠点は次の二つに大分されよう。第一は、締め切り時間の存在である。グローバル化の進展とともに、世界経済は時差を越えた情報の伝達が不可欠である。ニューヨークの為替相場の終値は朝刊ではなく、夕刊に掲載される。これは「旧聞」であり、「新聞」記事とは言い難い。

第二は、新聞発行の翌日には巨大なゴミに変化することである。再生可能とはいえ、IT 化でゴミ排出が避けられればそれに越したことはなく、CO2 排出も回避できることになる。新聞のデメリットが即 IT 情報のメリットになる。新聞や雑誌などと異なり締め切り時間に縛られず、ゴミの排出も少ないことである。逆に、IT 情報の欠点は、情報源ががならずとも明確ではなく（各地新聞の引用が多い）、Twitter などには時に無責任なものや、為にする論議も加わりがちとなることである。

24 時間、世界の情報が時差を越えて入手できることは、グローバル世界では不可欠

である。国際通貨研究所のメールマガジンによる情報発信は、急速に変化する政界情勢の中で、極めて時宜を得たものである。印刷物とは異なる IT 情報のメリットを十分生かし、世界への情報、意見の迅速な発信を期待したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2012 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihombashi Hongokucho 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話：03-3245-6934 (代) ファックス：03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>